

東北の子どもたちを鎌倉にご招待！
届け！福島の子どもたちに。

未来・連福
チャリティーコンサート
IN 建長寺

第1部：佐々木 祐滋

シンガーソングライター

歌と語り 平和への願いを込めて

第2部：ウクライナの歌姫
ナターシャ・グジー

～水晶の歌声とバンドゥーラの可憐な響き～

平成29年2月11日(土) 開場12:30 開演13:00

大本山建長寺 龍王殿

前売券3,000円 当日券3,500円 (拝観料別途)

佐々木 祐滋



福岡県博多区出身のシンガーソングライター。広島平和記念公園にある原爆の子の像のモデルである佐々木禎子の甥。被爆二世でもあり、NPO法人SADAKO LEGACY副理事長として世界へ伝わる禎子ストーリーを通じて、相手を「思いやる」ことや、相手と「分かちあう」心を共有できるように、禎子の遺品の折り鶴を世界各国へ寄贈し、歌を交えた講演活動や折り鶴でつながるリサイクルプロジェクトを展開しながら「誰もが夢や希望を叶えられる世界」の創造を目指している。活動のきっかけは、バンド活動中、佐々木禎子の甥としての経歴から、とある戦争体験者の方々に「あなたにも禎子のDNAが入っているのだから、禎子の物語を語り継ぐ責任がある」と告げられ、2000年自身がボーカルを務めるバンド「GOD BREATH(ゴッド・ブレス)」を結成し、叔母である禎子を語り、歌を通じて命の尊さを訴える活動を始める。その後禎子をモチーフにした楽曲を作り、世界各地で高い評価を得る。2009年ソロ活動をスタート、禎子の思いを綴った曲『INORI』が2010年7月ソニーミュージックレコーズよりメジャーデビュー。同曲をカバーした「クミコ」さんは、2010年紅白歌合戦にこの『INORI』で初出場し、ヒットメーカーの仲間入りを果たした。

ナターシャ・グジー



ウクライナ生まれ。

ナターシャ6歳のとき、1986年4月26日未明に父親が勤務していたチェルノブイリ原発で爆発事故が発生し、原発からわずか3.5キロで被曝した。その後、避難生活で各地を転々とし、キエフ市に移住する。ウクライナの民族楽器バンドゥーラの音色に魅せられ、8歳の頃より音楽学校で専門課程に学ぶ。1996年・98年救援団体の招きで民族音楽団のメンバーとして2度来日し、全国で救援公演を行う。2000年より日本語学校で学びながら日本での本格的な音楽活動を開始。その美しく透明な水晶の歌声と哀愁を帯びたバンドゥーラの可憐な響きは、日本で多くの人々を魅了している。2005年7月、ウクライナ大統領訪日の際、首相官邸での夕食会に招待され、演奏を披露。2016年7月、これまでの活動が評価され、外務大臣表彰を受ける。コンサート、ライブ活動に加え、音楽教室、学校での国際理解教室やテレビ・ラジオなど多方面で活躍しており、その活動は教科書にも取り上げられている。

公式ホームページ：<http://www.office-zirka.com/>

撮影：広河隆一

未来・連福プロジェクト

主催：未来・連福プロジェクト
子ども達を守り、育て、幸福の輪を広げよう
協力：大本山建長寺

お申し込み
090-3689-8011
齊藤